

**学校名** 上尾市立平方北小学校  
**所在地** 上尾市平方3657  
**電話** 048-726-2120

## 1 本校の概要

本校は、学級数8学級、児童数129名の小規模校である。学校教育目標は「確かな学力・豊かな心・健やかな身体の育成」とし、確かな学力の向上と健やかな心身の育成を目指している。

## 2 本校の実践

### (1) 実践の視点

- ・ 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・ 学校図書館等の環境整備の工夫

### (2) 実践の概要

#### ア 読書タイム

毎週月、火、金曜日の8時25分から35分の時間帯に登校後の準備が終わった児童が読書をしている。

#### イ 読書まつり（6月）

- ・ 今年度は、「広げよう！本の輪と友達の輪！」という名称で、友達のおすすめの本を読む活動を行った。友達におすすめの本を尋ねることで、読書に関するコミュニケーションが生まれた。また、参加賞としてしおりを渡し、意欲を高めた。
- ・ 教職員のおすすめの本を掲示した。

#### ウ 読書月間（11月）

- ・ 様々な種類の本に興味をもって読むために、「読書ビンゴ」を行った。目標冊数を設定して、読んだ本を記録する「読書記録」と合わせて目標達成した児童にはしおりを渡した。
- ・ 「ふくめんブックフェア」という名称で、紹介文を手掛かりに、新たな本と出会う活動を行った。児童は封筒に書かれた紹介文を読んで、興味がある本を選んで借りた。
- ・ 校長が給食時間中に読み聞かせを行い、その時に読んだ本を校長室前に展示した。



#### エ 教科指導との連携

授業で児童が作成した、図書に関連する作品を学校図書館内に展示した。4年生では、図工「本から

飛び出した物語」で作成した作品を展示した。この単元は、児童が気に入った本の一場面を立体作品として作成してい



る。作品の基となった本を、作品の横に展示することで興味関心を高めた。

6年生では、国語「日本文化のよさを発信しよう」で作成したパンフレットを学校図書館内に展示した。

パンフレットの内容に関連する本を近くに展示することで、6年生以外の児童も日



本文化に興味をもち、日本文化を深く知るきっかけとなった。

#### オ 担任と図書支援員の連携

各担任が授業で必要となる図書を、積極的に学校図書館から借りるようにした。各担任が直接、図書支援員に頼むだけでなく、時間がない場合には司書教諭が窓口となって各担任の要望を伝えることもあった。国語の教科書の「この本読もう」掲載の図書だけでなく、関連する図書を図書支援員が選んで貸し出した。

## 3 成果と今後の課題

### (1) 成果

ア 児童がおすすめの本を紹介し合うことで、新しい本との出会いを広げることができ、幅広い読書を楽しむことができるようになった。

イ 教職員の貸出冊数が昨年度468冊から今年度1,107冊（12月時点）に増加した。並行読書や学習に関連する本を学級に貸出することで、本校の学習活動において、学校図書館がより活用されるようになった。

### (2) 課題

ア 児童の貸出冊数が昨年度4,498冊に対して今年度3,679冊（12月時点）であり、伸びなかった。学級文庫を充実させたことが原因とも考えられるが、定期的に学校図書館に足を運びたいような取組を考えたい。

### (3) おわりに

来年度も教員と図書支援員が連携しながら、児童が図書に興味をもつことができる取組を行っていきたい。